

逗子の景観まちづくり

瓦版 第四十一号

平成二十七年七月一日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

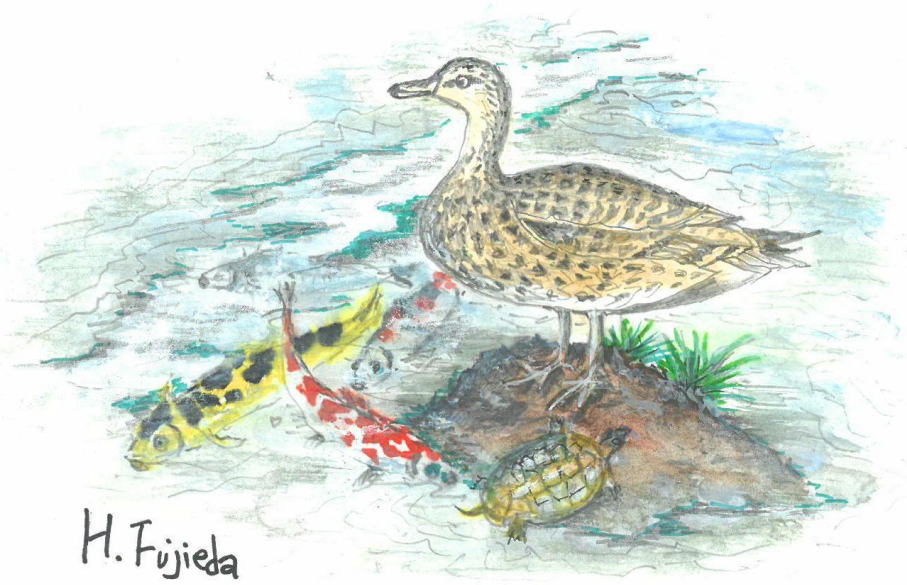
電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「田越川」

私の住む桜山5丁目では、福祉会館の脇道から水が湧いている所がある。湧水である。



H. Fujieda

「田越川の風景」

絵 藤枝 博

そして杉木立の残る山林奥の方からは、小川がチヨロチヨロと流れて来る。

こうした源流が市内の各所にあつて、ささやかな一滴の水が川となり、市内を流れる田越川となつているのである。

定年退職後に、健康管理を兼ね、田越川沿いを散歩する機会が多くなった。一昔前の田越川は、家庭からの排水が流れ込み、洗剤の泡やゴミなどで汚れた川であったが、近年、下水道が完備され、土手の整備、一斉清掃イベントなどできれいな川になつている。

錦鯉、みどり亀、鴨、白鷺、川鵜、カワセミ、アオサギ、ハクセキレイなど、様々な野鳥や魚が生息するようになり、川岸の桜や松、藤などの樹木と川に架かる多くの橋などとの調和がとても素晴らしい景色を織りなしている。

カルガモの赤ちゃんが5羽も親鴨と泳いでいたり、鯉の群れに紛れて鮭が遡上していたり、白鷺が小魚を素早く捕ったり、川鵜がしばらく潜水して小魚を飲み込む姿などに偶然にめぐり合い、暫し散歩の足を止めて眺め入ることもある。



「昭和の香りのする居酒屋食堂」

絵 藤枝 博

そして、余談だが、散歩のあとに市役所のそばにある昭和の香りのする居酒屋食堂に立ち寄るのが、いつもの楽しみでもある。

こんな小さな逗子の街中を流れる田越川の自然と景観を、大切に保持して、子や孫のために後世に残したいものです。

文 藤枝 博

逗子の景観を考える vol.10

逗子の原風景である名越の谷戸を守りたい



逗子名越緑地里山の会会長

飯河（いごう）正さんに聞く

逗子にも田んぼがあることをご存じでしょうか。久木9丁目の谷戸にある名越緑地には逗子唯一の水田があります。水田のほかにも畑や竹林、山の湧き水を集める井戸とそれをためて水田に使うための溜池などがあり、初めて見る人も不思議と懐かしさを感じる風景です。市が実施するアダプト事業として里山保全を始めたのが10年。その里山の会が、田や畑を復活させました。「手入れをしながら10年。やっと今の状態になりました。子どもたちの遊びや学習の場として、ここに来ていろんな体験をしてもらいたいんです」と会長の飯河さん。子どもの頃から自然のなかで駆け回るのが大好きだったという飯河さんは、逗子に居を構えたちょうどそのころ、逗子の田が復活するという話を聞いて、その復活と保全活動に参加したいと思ったのがきっかけだったそう。活動に取り組むうちに、自然と人をつなぐインタープリター（自然や歴史を訪れる人に解説する人）となるには自分も勉強をしなくてはならないと、森林インストラクターの資格も取ったそうです。

逗子名越緑地里山の会は「トンボやカエルが暮らせる豊かな環境の里山づくり&川や溜池の生き物にとって棲みやすい環境づくり」がテーマ。田んぼと畑を復活させる「虹の会」、竹林保全を行う「三浦竹友の会」、生き物の調査や提言をする「名越谷戸自然調査会」、谷戸湿地や草原を管理する「まちなみ部会」の4つのグループに分かれています。最近子どもと一緒に家族での参加が増え、現在の会員数は全体で90人ほど。「子どもに体験をさせたいという思いと同時に、若いお父さん、お母さん自身も田んぼや畑作業を知らないので、家族で楽しんで参加してくれるのがうれしいですね」（飯河さん）

6月15日には池子小学校の5年生の手で田植えが行われました。会の人たちが「3本ずつ、鉛筆を持つように苗を持ってね」「板に沿ってまっすぐに植えてくださいね」と指導します。「泥がぬるぬるしてる！」「足が抜けない！」など、初めての田植えに子どもたちも大はしゃぎです。秋になったら子どもたちにも稲刈りに参加してもらおう予定です。

「里山が親子の共通の話題になったり、ここでの体験が子どもたちの原風景となってくれればいいと思っています」（飯河さん）昆虫や植物が生息しやすい環境を守るために、ゆっくりとですが保全に努めていきたいそうです。

逗子名越緑地里山の会では会員を募集しています。見学、体験も歓迎です。



私の逗子の歩き方
～景観資産の名越緑地～

住宅街を進むと隠れた名所、里山が現れます。土や緑の匂いを胸いっぱい吸いこみたくなる景色。



瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課

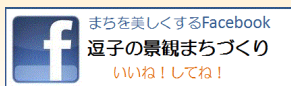
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：machi@city.zushi.kanagawa.jp

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！



瓦版に掲載する
逗子の景観コラム、
イラスト募集中！！



☆瓦版のバックナンバーは逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。逗子市HP、逗子の景観のまちづくりフェイスブックにもアップしていますのでご覧ください。